

引継事項

【事業前準備での引継ぎ事項】	
事項 1	実施までに軽食を取りやめたこと、対内対外の参加者が直前まで確定していなかったことがあり、席のレイアウトを十分に検討できていませんでした。回遊性や視認性を考慮した交流が生まれやすい配置を検討する必要があります。
対応 1	今回は食事つきであることを考慮し、参加人数が変動しても対応できるレイアウトを構築します。
事項 2	SNS 広報について進撃の新発田とコラボした広報を行い、そちらからの申し込みがあり他団体との連携は有効であると確認できました。SNS で広く発信するには、他団体や個人との連携した広報戦略を検討すべきです。
対応 2	今回は先方からの申し出があり、コラボ発信は実施しません。
事項 3	参加条件を 20～37 歳までとしましたが、ここが集客でネックになったことは確かです。最終的には拡大に繋げることが目的ですが、広く参加者を集めるには年齢条件を緩和することも検討してください。
対応 3	上限を 40 歳までとしました。
事項 4	OB に直接話をするすることで、会社から参加者を出してもらうことができました。積極的にアプローチしてください。
対応 4	前回参加してくれた OB 企業を含めアプローチします。
事項 5	今回一番集客につながったのは直接の呼びかけです。しかしそれだけでは限界があるので、JC メンバーと関わりのない人や JC を知らない人へのアプローチ方法を模索する必要があります。
対応 5	・市内外の企業への訪問 ・他 LOM メンバーへの聞き取り、紹介 ・継続的な SNS 広報
【事業日当日での引継ぎ事項】	
事項 1	アンケートの対外解答率が 100%ではありませんでした。お礼メールに URL を添付するなど、回答率を上げる工夫が必要です。
対応 1	お礼メールにリンクを添付します。
事項 2	ゲスト講話は好評でしたが、10 分では内容の深まりにかけた印象でした。事業全体の時間を考慮しつつ、最低でも 15～20 分程度確保することを検討してください。
対応 2	今回はマネーセミナーといこともあり、講話に 1 時間使います。
事項 3	飲み会が苦手な人も多いことから、事業後の懇親会についての事前周知はしませんでした。しかし懇親会で深く交流できることもあるので、強制ではないことをきちんと伝えた上で事前周知することも検討してください。
対応 3	懇親会は移動中に離脱する可能性もあるため、講話後同じ会場で実施します。
事項 4	交流会中、懇親会中の過度な勧誘は青年会議所の印象を悪くするため NG です。委員会メンバーだけでなく参加する JC メンバーにも徹底させてください。

対応 4	交流会の主旨を説明し、理解していただけるメンバーに参加していただきます。
事項 5	4 と同じく、対外参加者に対し「人集めに困っている」「JC は縦社会で大変」などマイナスな発言や内輪話は、「なぜそんな場に参加させられているのか」と印象を悪くするので NG です。
対応 5	NG 行動をまとめ、参加するメンバーに周知します。
事項 5	自由に名刺交換をしてもらおうと知り合い同士で固まっている方もいるので、JC メンバーが積極的に動くか、グループ移動のローテーションを組むなどの工夫が必要です。
対応 5	固まっていたり会場隅にいる参加者には JC メンバーに積極的に動いてもらいます。
事項 6	マイク音声小さかった。人が多く入る前提で音量調整するようにしてください。
対応 6	音量は大きめに設定します。